

MEMO 2月15日(金)の美容・ファッション情報は、美容情報誌「WWD」(http://www.wwd.jp)と「WWD」(http://www.wwd.jp)に掲載されています。

山咲千里 *Saori Yamazaki*

「美神伝心」 *Bechū-Denshin*

美容はある意味、コミュニケーション

女優・山咲千里の公式ブログが本になる。2006年9月に立ち上げたブログ「美神伝心」は、スタート以来、1日2000件以上のアクセスを誇る人気ブログだ。書籍化にあたり、ブログで綴ってきた内容をテーマごとに再編集。愛用コスメの紹介に留まらず、40代半ばを迎えた今だからこそ書ける人生論も盛り込んだ。過去にも月の満ち欠けを軸にした美容本「美肌」(2003年/講談社)ほか10冊に及ぶ本を書いている山咲だが、新刊の「美

神伝心」では時空を超え、これまでの次元を超越した宇宙論的な新しい美容の在り方を提示。山咲千雫的「美容コミュニケーション論」を展開している。

「ブログはもともとごく狭い仲間内に宛てて作ったもの。始めた当時は、何が起こるか分からない世の中にも書かれぬ不安を覚え、平仮「道言」を書くような気持ちだった」と山咲は振り返る。もう本を書くこともないと思っていた穴先、書籍化の話が上がった。

「正直、無理だと思った。ブログでは1日に原稿用紙10枚分も書いていることがある。そのままでは収録がつかず、丁寧にエッセンスだけを凝縮したよ」

再び本を書くことと決意したのは、アメリカの理論物理学者、リサ・ランデルの多宇宙的なモノの描き方に強く共感

したからだという。

「これからの美容は5次元。5次元美容を目指す今後は、人と人、人と動物、人とモノといったありとあらゆる関係が「友」としてつながっている必要がある。一方的に化粧品に依存してもダメ。アテにしないし、期待もしない。コミュニケーションの相手となるその対象を理解し、出来るだけ良い点を見つけて愛してあげることが必要」と山咲。これまで意識していた次元を超越したことで、ある種の「とらわれ」もなくなったという。

「本来、女性は何もしなくても美しい。何も必死に美容する必要はない。むしろ朝から晩まで美容のレシビに従って生きるなんて変でしょう? なぜそこまで自分を追い詰めるのか、その恐怖はどこから来るのか、女性たちは一度立ち止まって



山咲千里のリアルな美容生活と綴った人気ブログ「美神伝心」の書籍化。1500円以上、送料別で送料

考えるべき」とは、トランスに傾くなり、時代に取り残された古いメイクのまま、新製品も使いこなせないようでは寂しいと思う女心は否定しない。「今、この時間も美は進化している。問題はそれに気づき、自らが開きわらうとするか否か。最近男性の美意識も高まっているが、美に対する男性の理解が深まることは女性にとっても喜ばしいこと。美容はある意味、コミュニケーションだから」。

美容理論の最前

21世紀☆女は“永遠の工

「トータルビューティ」「インナービューティ」という言葉が聞かえるようになってから、女性たちは目に見える医療や食の分野に取まんがはげこり、深淵なまでにピュアであることを求めるようになった現代人たち。美容は

片桐衣理 *Eri Katagiri*

「片桐衣理のピリオディック スキンケア」 *Periodic Skin Care*

生理周期とうまく付き合えば、肌が変わる!

女性には毎月、当然のように生理周期がある。本書ではその体の周期、ピリオドによる定期的な肌の不満に注目。肌状態に合わせた適切なスキンケア方法を、こだわりのイラストとともにわかりやすく解説した。ありそうでなかったコンパクトなサイズは、バッグに入れて持ち歩くバイブル的な本にしたいという、片桐医師の意志が反映された形だ。

「日々のカウンセリングで患者さんたちの悩みを聞いていくうちに、女性の体

に当然のこのようにある生理周期について、毎月のように唇が干涸い、悩んでいるのが印象になっていた。本来はその定期的な周期とうまく付き合う術を心得ていけば、悩むこともないし、過度な不安を感じる必要もない。それぞれ1冊の本にまとめても良い時期だと思っていた。ただし特別な方法ではなく、誰もが無理なく毎日続けられるものにしたかった。最近、自分自身で乾燥・出産を経験したことで、ようやくある種の自信が付き、きちんとした安心感、責任感を持って患者さんたちの要望に答えられる本が書けたと思う」と片桐医師。

内科・美容皮膚科の医師であり、1人の女性として生理周期の悩みも体感している片桐医師が、あえて口にするその「自信」とは何なのか。

片桐医師が院長を務める「衣理クリニック」には、ボトックスやヒアルロン酸注射などの施術を希望する患者が多い。彼女には、そうした施術に関しても「自ら実践に体験し、効果を見極め、本当に良いと思ったものしか患者さんに勧めない」という信念がある。

「何をしてもしてもまずベースとなる肌を元に戻す。ピリオディックな観点から正しい食生活やスキンケアを行っていけば、解決する問題は多くある」。

妊娠、出産という女性特有のイベントは、医学的な理論からだけではなく、実際には1人の女性として体感することで見えてくる体の変化や疑問、そして確信があり、自信へとつながったのかもしれない。「私には以前、コスメジャーになった時期がある。その頃は生理周期にも無



生理周期を味方につければ、あんなに肌は絶対変わる!

2008年1月15日(金)発行(200頁) 1500円(送料別) 1500円以上、送料別で送料



PROFILE 内科・美容皮膚科 医師/2007年10月15日(水)に片桐クリニックを開設。現在、片桐クリニック院長を務める。そのほか、片桐クリニックに所属する。2007年10月15日(水)に片桐クリニックを開設。現在、片桐クリニック院長を務める。そのほか、片桐クリニックに所属する。2007年10月15日(水)に片桐クリニックを開設。現在、片桐クリニック院長を務める。そのほか、片桐クリニックに所属する。